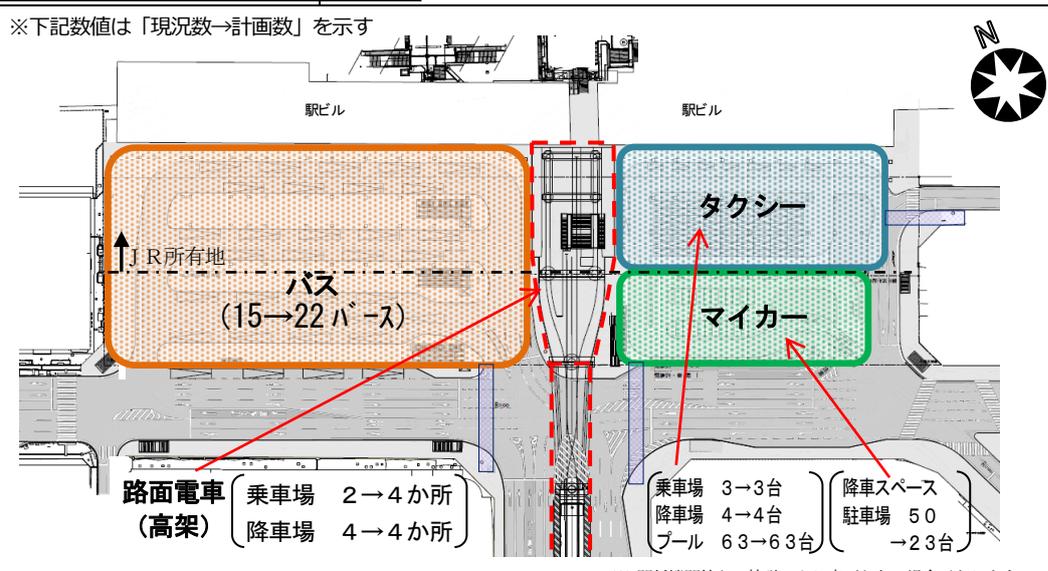


広島駅南口広場の再整備等に関する事業の概要

(令和2年7月28日 広島市議会建設委員会初会合 資料)

項 目	説 明
<p>1 2 広島駅南口広場の再整備等 (道路交通局)</p>	<p>1 目的 広島駅南口広場については、利用者の利便性向上の観点に立った公共交通ネットワークの形成を図るとともに、広島駅周辺地区で進めてきた都市機能強化の取組と一体的なまちづくりを推進するため、JR西日本が実施している現広場の自社所有部分上空の立体利用を前提とした駅ビルの建替えと連携し、路面電車を駅ビルの2階レベルへ高架で進入させるなどの再整備等に取り組みます。</p> <p>2 事業概要 (1) 概要 広島駅南口広場は、JRとバスの乗り継ぎが不便であるとともに、ラッシュ時に広場に進入できない路面電車が行列待ちとなっています。さらに、待合場所や憩いの場といった賑わい・交流空間が少ないなど様々な課題を抱えています。 また、路面電車の広場への進入ルートが迂回しているため、広島駅と紙屋町・八丁堀地区間の所要時間が長く、路面電車の定時性や速達性の確保が課題となっています。 こうした課題に対応するため、路面電車を駅前大橋ルートから広場へ高架で進入させるなどの広場の再整備を行うとともに、自由通路とつながる2階レベルの歩行者ネットワークを構築します。また、併せて、市内中心部を環状で結ぶ路面電車の循環ルートを整備します(下図「南口広場交通施設ゾーニング図」及び次頁「路面電車のルート図」等参照)。</p>

南口広場交通施設ゾーニング図



※ 関係機関等との協議により変更となる場合があります。

路面電車：乗降場を各方面別に4系統分確保します。
 バス：広島駅周辺に点在するバス停を広場内に集約します。
 タクシー：現状並みの規模を確保し利便性を維持します。
 マイカー：短時間利用のために必要な駐車台数を確保します。

項 目

説

明

完成イメージ

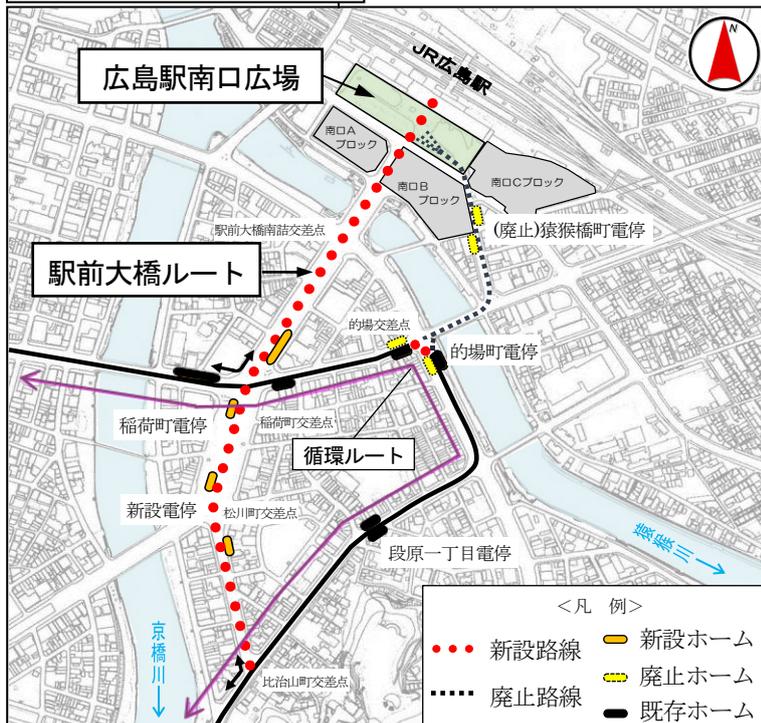


▲広島駅南口広場外観全景（駅前大橋から北側を望む）



▲広島駅南口広場内観（自由通路から南側を望む）

路面電車のルート図



<駅前大橋ルートと南口広場>



<循環ルート>

項 目	説 明
	<p>(2) 経緯</p> <p>平成22年 8月～ 「広島駅南口広場再整備に係る基本方針検討委員会」及び「広島駅南口広場再整備に係る連絡調整会議」の開催</p> <p>平成25年 8月～ 沿線住民への説明会の開催</p> <p>平成26年 3月 沿線町内会からの的場町、段原一丁目電停の存続等を求める要望書を受理</p> <p>9月 「広島駅南口広場の再整備等に係る基本方針」の決定・公表</p> <p>平成31年 3月 「広島駅南口広場の再整備等における魅力的な駅前空間の整備方針」の決定・公表</p> <p>4月 広島電鉄が軌道法に基づく軌道運輸事業特許申請を国土交通省へ提出（同月、本市へ意見照会）</p> <p>令和元年 6月 上記意見照会について本市から市議会へ諮問し、支障なしと議決</p> <p>11月 環境影響評価書の公告・縦覧、都市計画決定及び変更の告示、軌道法に基づく軌道事業特許取得（広島電鉄）</p> <p>令和 2年 1月 広島電鉄が軌道法に基づく軌道事業工事施行認可申請を国土交通省へ提出（同月、本市へ意見照会）</p> <p>2月 上記意見照会について本市から市議会へ諮問し、支障なしと議決</p> <p>4月 JR西日本が広島駅ビルの建替工事に着手</p> <p>3 現状と今後の取組</p> <p>平成26年9月に策定した「広島駅南口広場の再整備等に係る基本方針」に基づき、現在、広場再整備及び路面電車の駅前大橋ルート整備等に係る実施設計や、都市計画事業認可申請の準備を進めています。</p> <p>本年度は、実施設計や、駅ビル建替え工事に併せた南口広場整備の準備工事を進めるとともに、都市計画事業認可、軌道事業工事施行認可を取得したうえで本工事に着手し、駅前大橋ルート及び循環ルートについては、新駅ビルの開業と同時期の令和7年春の開業を目指します。また、広場の再整備については、駅前大橋ルート開業後に既存電停や軌道の撤去などを行い、できるだけ早期の完成を目指します。</p> <p>令和2年度 都市計画法手続、軌道法手続 実施設計、本工事等</p> <p>令和3年度～ 本工事等</p>